

第21回
東京フィルメックス
特別招待作品

第44回フレームライン
サンフランシスコ
国際LGBTQ映画祭
正式出品

第31回
シンガポール国際映画祭
特別招待作品

DENISE HO BECOMING THE SONG

Director: William Son Williams
Executive Producer: Helen Siu, Co-executive Producer: Judith Verchères
Co-Producer: Nisha Rayamajhi, Original Score: Charles Neumann
Editor: Emma Morris, Director of Photography: Jerry Rabin

デニス・ホー
ビカミング・ザ・ソング

“香港に自由を”

監督・脚本・制作:スー・ウィリアムズ 製作総指揮:ヘレン・シウ 共同製作:ジェディス・ヴェッキオーネ 共同制作:ヌシャ・ペイラン
オリジナル音楽:チャールズ・ニューマン 編集:エマ・モリス 撮影:ジョリー・リシウス 字幕:西村美須寿 字幕監修:Miss D
協力:TOKYO FILMeX、市山尚三 資料監修:江口洋子 配給・宣伝:太秦
【2020/アメリカ/ドキュメンタリー/DCP/83分】 ©Aquarian Works, LLC

deniseho-movie2021.com

G
映像
48849

山形国際
ドキュメンタリー映画祭 2017
小川紳介賞受賞

第53回 台湾金馬奨
最優秀ドキュメンタリー賞

2016南方影展
ドキュメンタリー賞

第7回 シラナ国際
ドキュメンタリー映画祭

2017シンガポール
華語映画祭

香港インディペンデント
映画祭:在地独立

第1回日本・香港
インディペンデント
映画祭

2016香港
インディペンデント
映画祭

2016台湾国際
ドキュメンタリー映画祭

第9回華語
国際映画祭
ゲートウェイセクション

第31回
福岡アジア映画祭

2017台湾国際
ドキュメンタリー映画祭
シアター

第35回パンクーパー
国際映画祭
ゲートウェイセクション

未来は一瞬じゃ変えられない
でもこの時間がいつか未来をつくる



乱世備忘
吾僕らの雨傘運動

*It's just
the beginning*

監督 陳梓桓 エグゼクティブプロデューサー 崔允信 プロデューサー 任聰聰 陳梓桓 コプロデューサー 張鐵樺
編集 胡靜 陳梓桓 音楽 何子洋 制作 影意志 原題 亂世備忘 配給 太秦 監修 倉田徹
©2016 Ying E Chi All Rights Reserved. 2016 | 香港 | カラー | DCP | 5.1ch | 128分 公式サイト: www.amagasa2018.com

Director CHAN Tsz Woon Presents YING E CHI Executive Producer VINCENT CHIU Producers CHIAN Tsz Woon, Peter Yam Co-producer CHEUNG Tsz Leung Editor Jean HU CHAN Tsz Woon Sound Designer Jack Lam
HO Music & Sound Mixing Jack Lam ED Colorist Eddie WONG Second Camera LAU Kok Ru, SAM TSANG, CHOW Hin Wa Editing Assistant LEE Wah Shing Footage Providers Sam TSANG, Eric TSANG, WAN King Fai,
LAU Kok Ru, JIM LAM, Erasmus CHAN Motion Graphic Ceelo YUEN Topographer & Poster Designer Geelo YUEN Copywriter LO Tsz Ying Aerial Shot CHAN Chi Sing Home Video CHAN Tsz Woon's Father

ドキュメンタリー映画

2014年香港の若者たちが未来の為に
立ち上がった「雨傘運動」79日間の記録

PROFILE

デニス・ホー(何韻詩)

1977年香港生まれ。11才の時に家族とカナダへ移住。その後、アナ・ムイ(梅艶芳)に弟子入りし、2001年にレコードデビュー。香港ポップスの中核を担う歌手としてワールドワイドに音楽活動を続けるなか、映画や舞台など女優としても活躍。

2012年のLGBTパレードに参加した際に、舞台上で自ら同性愛者であることを表明。香港の女性芸能人で初のカミングアウトとなった。また、2014年「雨傘運動」に参加し、座り込みを続けたことで逮捕され、レコード会社との契約やスポンサー契約を打ち切られた。2019年には「逃亡犯条例」改正反対デモに参加している。現在は、PodcastやYouTubeで配信活動を行なっている。

STORY

2014年に香港で起きた「雨傘運動」。警官隊の催涙弾に対抗して雨傘を持った若者たちが街を占拠したこの運動に、一人のスターの姿があった。彼女の名前はデニス・ホー。彼女はこの運動でキャリアの岐路に立たされた。中心街を占拠した学生たちを支持したことで逮捕され、中国のブラックリストに入ったのである。スポンサーが次第に離れていく、公演を開催することが出来なくなった彼女は、自らのキャリアを再構築しようと、第二の故郷モントリオールへと向かうのであった。

スー・ウイリアムズ監督による長期密着取材によって浮かび上るのは、香港ポップスのアイコンであった彼女が、香港市民の自由を守るために声を上げる一人のアーティスト／民主活動家へと変貌していく様である。この物語は、歪な関係にある香港と中国、過去30年的情勢を見事に反映している。

そして、2019年6月。香港で「逃亡犯条例」改正に反対するデモが起きた。数百万のデモ参加者が街頭に繰り出しながら、彼女は催涙ガスと放水砲が飛び交う通りに立ち続ける。自由を求める香港の人々の声が、デニス・ホーという存在に重なり、その願いが一つの歌となって響き渡る。映画の幕は閉じるが、香港の闘いはまだ終わっていない…



熱狂と再生のドキュメンタリー

香港を代表するポップスター

「激動香港 市民は何を目指したか」特集 (2023/1/11 水～22日 ※1/16休映) 内にて上映

料金：一般 1,800円／学生、高校生 1,500円／中学生以下、シニア、障害者手帳をお持ちの方 1,200円

12(木)、15(日)、18(水)、21(土) 13:00

※全席指定／各回定員入替制／立ち見不可／事前予約不可

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
www.topmuseum.jp TEL: 03(3280)0099

僕が生まれる前、1984年に香港が1997年に中国に返還される事が決まった。

2014年、香港にはいまだに民主主義はない。自分たちで香港の代表を選ぶ「眞の普通選挙」を求めて若者が街を占拠した、雨傘運動。同じ「香港人」であるはずの警官たちからの浴びせられる催涙弾に皆が雨傘を手に抵抗し、僕はカメラを手にデモに向かった。そこで映画の主人公となる仲間たち、大学生のレイチェル、ラッキー、仕事が終わってからデモに駆けつけてくる建築業のユウ、授業のあと1人でデモに来た中学生のレイチェルたちに出会った。香港の街が占拠され、路上にはテント村ができ、自習室ではラッキーの英語無料教室が開かれた。テントをたて、水を運び、そして夜は一緒にマットを敷いて路上に寝る日々。討議がまとまらず言い争いになると「これが民主主義」と、皆で笑いあう。こんな香港を見るのははじめてだった。香港に暮らす「普通」の僕たちが、「香港人」として「香港の未来」を探した79日間の記録——。当時27歳だった陳梓桓監督が仲間たちと過ごした、未来のための備忘録。

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
www.topmuseum.jp TEL: 03(3280)0099

「僕たちは何かを変えたか――」

2014年は香港・雨傘運動のほか、台湾・ひまわり運動では学生たちが立法院を占拠し、日本ではSEALDsの前身となる学生団体SASPLが結成された。明確な結果が見えず運動が終わった時、彼らは自分たちがどう闘い続けていくかという問題に直面する。若者たちの軌跡を紐解くことで、私たちアジアの未来が見えてくる。未来を変えるには時間がかかる。2014年はすべてのはじまりであった。

香港の新世代による、香港、そしてアジアの未来を見つめる社会派青春群像劇ドキュメンタリー。

乱世備忘 僕らの雨傘運動

監督 陳梓桓 エグゼクティブプロデューサー 崔允信
プロデューサー 任祝鵬 陳梓桓 コプロデューサー 張鐵霖
編集 胡靜 陳梓桓 音楽 何子洋 制作 影志意
原題 亂世備忘 記念 太秦 監修 倉田徹
©2016 Ying E Chi All Rights Reserved.
2016 | 香港 | カラー | DCP | 5.1ch | 128分

公式サイト：www.amagasa2018.com

1997年、中国に返還された香港は「特別行政区」となった。「香港特別行政区基本法」には将来、「普通選挙」で行政長官を選ぶ事ができるとされたが、2014年北京は、共産党が支持しない候補を選挙から排除する仕組みを導入する「8.31決定」を下し、民主主義的な普通選挙の道は閉ざされた。「8.31決定」の撤回、「眞の普通選挙」の実施を求めて、香港の金融街・中環を占拠する「オキュパイ・セントラル」が計画された。大学では授業ボイコットが行われ、黄之鋒ら若者による組織「学民思潮」は、政府本庁舎前で抗議活動を開いた。催涙弾で鎮圧しようとする警察に、数万人におよぶ学生、市民たちが雨傘で抵抗した事により「雨傘運動」と呼ばれるようになった。しかし成果を得ないまま占拠を続ける運動に対して徐々に市民からの反発も強まり、79日に及ぶ「雨傘運動」は終了した。金鐘に残ったバリケードには、「It's just the beginning / まだこれからだ」というメッセージが残されていた。その後、黄之鋒は「民主の女神」として周庭と共に、香港の自決権を掲げる政党「香港衆志(デモシスト)」を創設。2018年、周庭が立法会議員補欠選挙出馬の届け出を行うも認められず、香港の「高度な自治」が脅かされているとの懸念が高まっている。



「激動香港 市民は何を目指したか」特集 (2023/1/11 水～22日 ※1/16休映) 内にて上映

料金：一般 1,800円／学生、高校生 1,500円／中学生以下、シニア、障害者手帳をお持ちの方 1,200円

13(金)、17(火)、20(金) 13:00

※全席指定／各回定員入替制／立ち見不可／事前予約不可

彼らの最前線は宙に舞い飛び散ったのか？
それは夢であったのか？
香港の街は静かな夜に涙するだけなのか？
否！道は続くのだ！
と僕は思った。
美術家・奈良美智

